

石川広域 川北町における高齢者の保健事業と介護予防(等)の一体的実施 (R510月開始)

市の概況	(R6.4.1)
人口	6,063人
高齢化率	23.7%
被保険者数	795人
後期高齢者健診受診率	23.1%
日常生活圏域	1圏域

実施体制
【推進体制】 住民課：健診、データヘルス計画主管課 福祉課：企画・調整 疾病予防、重症化予防 通いの場支援、一般介護予防 介護保険事業計画、高齢者福祉計画
※連絡会の開催 2か月に1回(年6回) ※広域との協議の場：一体的実施の企画担当者意見交換会：R6.5.23 R7.2.18 広域保健師の現地視察：R7.2.17 一体的に係る研修会：R6.11.1

健康実態と優先して取り組むべき健康課題(R6年度KDB等から)

- 外来も入院も、循環器系・筋骨格系疾患に係る医療費の割合が高く、特にその他の心疾患(心不全)、虚血性心疾患が高くなっている。
- 後期高齢者の新規人工透析患者数はR2年より1名ずつ増加している。
- 健診結果より、血糖値、腎機能が高い。
- 介護が必要になった主な原因では、認知症、転倒・骨折が上位である。
- 高齢者質問票では機能低下(口腔、運動、認知機能)がある。
- 健康状態不明者が増加している。
- ⇒本町の後期高齢者においては、生活習慣病の重症化予防、介護予防を目的とした糖尿病の対策が必要である。

健康課題解決のための企画・調整等について	ハイリスクアプローチ(特調と工夫)	ポピュレーションアプローチ(特調と工夫)
<p>【企画調整】</p> <p>福祉課総務健師(兼任)</p> <p>【庁内】</p> <p>関係課と庁内連絡会の開催</p> <p>【関係団体との連携】</p> <ul style="list-style-type: none">・能美市医師会・能美歯科医師会・町内薬剤師・川北町地域包括支援センター 等	<p>【糖尿病性腎症重症化予防】</p> <p>○対象者： 75歳以上の被保険者で、以下の該当者 健診受診者で空腹時血糖126mg/dℓ以上又はHbA1c7.0%以上で糖尿病医療機関未受診者 上記対象者が「該当者なし」だったため、治療中のHbA1c8以上の者を対象とした。</p> <p>○方法：保健師による複数回の訪問等による保健指導</p> <p>【健康状態不明者対策】</p> <p>○対象者： お達者ですか訪問事業の対象者(過去1年間に健診、医療、介護の実績がない者)</p> <p>○方法：保健師による訪問、必要に応じて、地域包括ケアセンターにつなぐ。</p>	<p>【通いの場での健康教室】</p> <p>実施数：1</p> <p>○実施内容：2回の健康講座と自主活動</p> <p>○歯と栄養の講座</p> <p>1回目 ①歯科医師、管理栄養士による講話、咀嚼能力測定、口腔体操の紹介 ②個別の口腔検査測定、栄養・食生活チェック、アンケートの実施等</p> <p>2回目 ①初回と同様個別の口腔検査測定、栄養・食生活チェック、アンケートの実施 ②結果報告、体調確認、講評</p> <p>各自で取り組むこと</p> <p>①指導を受けた口腔体操の実施(通いの場と自宅で実施)</p>

川北町 高齢者の保健事業と介護予防等一体的実施事業（R6年度事業結果と評価概要）

		対象者数	参加者数	評価指標	状況（評価結果）
ハイリスクアプローチ	糖尿病性腎症重症化予防	1	1	①HbA1cの変化 ②HbA1c8以上の者の割合 ③受診につながった者	①②年度をまたいだ介入や評価となり、評価対象者全員における暫定値を記載することができないため、来年度末に報告予定。 ③元々治療中の方で、糖尿病薬の中断はなかった。
	健康状態不明者の把握	0	0	①健診受診した者の割合 ②医療につながった者の割合 ③介護サービスにつながった者の割合 ④要介護認定の状況	①②③④対象者がいなかった
ポピュレーションアプローチ	通いの場等への積極的関与（健康講座、健康教育、サロンでの基本チェックリスト）	-	50（延）	①健康講座・健康教育実施数、参加人数	①健康講座等（2回（1会場）、50人）

（現状と課題解決策）

- 糖尿病性腎症重症化予防：当初の対象者では、対象となる方がいなかった。広域連合と相談し、対象者の条件を変更し、実施したが、町の実態から対象者の選定方法の検討を行う。
- 健康状態不明者の把握対象者：がん健診等受診している方を除くと、対象者はなしとなった。健康診査の受診勧奨を行うことを検討していく。
- 通いの場等への積極的関与：1地区で歯と栄養に関する事業を実施。すべての地区を回ることができなかった。来年度は歯と栄養の事業を拡大予定で、その事業を活用し、実施をしていく。

成果が出るハイリスクアプローチ

人口が少ないことから、対象となる方がいなかったが、新規人工透析者が増えていることや健診結果から、腎機能、糖尿病の判定が多くなっている。課題分析を十分に行うことで、成果につながると考える。

職員のスキルアップも重要であり、研修会への参加や庁内連携も重要である。

成果が出るポピュレーションアプローチ

参加をしている人の変化（基本チェックリストや体力測定など）を見える化することで、参加していない人への参加勧奨につながると考える。

来年度にむけ、実施地区を増やしていく予定で、内容等を検討する。